

たじみん昼話 125

具体は捨てて抽象を拾って答えよう。2

たじみん昼話 133 の答え合わせだ。しっかり考え抜いてもらうため、暫く放置予定だったが、解答要求が数件来たので掲載する。我流で訳したが、英語の先生にチェックはしていただいたので、ほぼ正解と捉えて欲しい。

【解答例】 ゾウと1秒はどちらが大きいかとの奇妙な問いに、多くの人がゾウを推すのは、我々は、異質なもの同士の比較の際に、本能的に同質な類型の中の平均値と結びつけてその判断をするからだ。(86字)

【ききょうの訳】

数年前に、アメリカへの旅の途上で、同乗者に暇つぶしとしてかなり奇妙な質問をいくつか投げかけて答えてもらった。最初の問いは、「おまえにとって、ゾウと1秒ではどちらが大きく思える？」というものだった。ここに言う second は1秒を意味し、2頭目のゾウを意味するものではないぞということを説明した上で、私はこの同乗者がどういう時間の長さを、ゾウの大きさに見合うと考えるのかを知ろうとしたのだ。同乗者の1人に物理学者がいた。彼は1秒間をその時間で光が進む距離に等しくなければならぬと強調した。それはもちろんゾウよりもはるかに大きい。しかし他の多くの者はゾウに1票を投じた。もともと、ゾウと比較してふさわしい時間を選ぶとなると、各人に大きな差が生じた。どうして大半の者が、ゾウは1秒よりも大きいと確信しているのだろうか。もしかするとゾウは、我々が知る多くの動物よりも大きいと考え、秒というのは我々に関わる時間の大半よりも小さいと考えるからかもしれない。恐らく、ここで示されているのは、ゾウは動物の中では大きく、秒は時間の単位としては小さいということだ。それ故、我々は異質な物同士を比べるのに、本能的にそれらを同類の平均値と結びつけて評価しているということになる。

解答への道のりは、133号を参考にして貰おう

- ①まず、比較できない物の話だな。ゾウと1秒はどちらが大きい?と聞かれていることに注目する。
- ②具体的な話は捨てる、例えば物理学者の話はどうでもよいので捨てる。
- ③奇妙な質問への回答としてのゾウに1票に注目する。話の本筋はここだ。
- ④最終行あたりに、結論らしきものが置かれることが多いことを思い出そう。この文章もそうだ。(いつもそうだとは言い切れないが)ここを抑えよう。

物事の本質は見えない事が多い。具体的で明らかなものに目を奪われると、抽象的な本質を見失うことになる。高校生のうちに抽象的な思考に慣れておこう。